

校長及び教員としての資質の向上に関する指標

(3) 養護教諭に必要な事項（専門領域）

ライフステージ		教職着任時	第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ	第4ステージ
			初任～教職経験5年次	教職経験6年次～10年次	教職経験11年次～20年次	教職経験21年次以降
資質・能力 にかかる項目		養護教諭として求められる基礎的な知識や技能を身につけている。	基礎形成期	伸長期	充実期	発展期
			実践力を磨き、基礎・基盤を固める。	知識や経験に基づいた実践力を高める。	多様な知識と経験に基づいた実践を展開するとともに、若手教員の指導を行い、学校の中核的役割を担う。	高い専門性と豊かな経験を持ち、高度な実践を展開するとともに、指導力を発揮し、学校づくりや教育活動をリードする。
養護教諭に必要な事項（専門領域）	保健管理	○学校保健安全法を理解し、保健管理に関する基礎的な知識・技術を身につけている。	○児童生徒の健康課題を把握し、教職員や関係機関と相談しながら対応にあたっている。	○児童生徒の健康課題を的確に把握し、教職員や関係機関と連携して対応にあたっている。	○保健管理に係る高い専門性を身につけ、児童生徒の心身の健康課題の解決に向け、校内において指導的な役割を担うことができる。	○保健管理に係る高い専門性を生かし、学校、家庭、地域、関係機関を連携させて、的確に対応する組織づくりを行うことができる。
	保健教育	○保健教育に係る専門性や学習指導要領に関する基礎的な知識を有している。	○児童生徒の実態から健康課題を捉え、学級担任等と連携し、専門性を生かした保健教育を行うことができる。	○児童生徒の健康課題を的確に把握し、その解決に向けた保健教育を実践するとともに、評価・改善を図ることができる。	○組織的な保健教育を推進するために、家庭や地域の実態に即して進めるとともに、連携におけるコーディネーターとしての役割を担うことができる。	○教職員や地域等、校内外の連携におけるコーディネーターとしての役割を担うとともに、養護教諭の視点を生かして教職員の実践に対し、指導・助言を行うことができる。
	保健室経営	○保健室経営における養護教諭の役割を理解するとともに、保健室経営計画を立案する知識を有している。	○学校教育目標をふまえ、児童生徒の健康課題の解決に向けた保健室経営計画を作成し、計画に沿って実践を行うことができる。	○学校教育目標をふまえ、児童生徒の健康課題の解決に向けた保健室経営計画を作成し、教職員と連携して組織的な保健室経営を行うことができる。	○学校教育目標の実現に向け、保健室経営計画に沿って実践するとともに、評価・改善を図りながら効果的に保健室経営を推進することができる。	○学校経営の観点に立って保健室経営計画を作成・実施し、学校、家庭、地域の連携のもと、計画的・組織的に保健室経営を推進することができる。
	健康相談	○学校保健安全法における健康相談の位置づけや、健康相談の基本的プロセス（課題の背景把握、支援方針・支援方法の検討、校内外の連携など）を理解している。	○児童生徒の健康課題を捉え、教職員や学校医等の専門職、保護者と連携を図りながら、適切な健康相談を実施することができる。	○児童生徒の健康課題を的確に捉え、教職員や学校医等の専門職、保護者と連携し、校内の支援体制づくりを行うことができる。	○健康相談に係る高い専門性を身につけ、児童生徒の支援体制の充実を図るために、学校内及び地域関係機関との連携におけるコーディネーターとしての役割を果たしている。	○学校内及び地域関係機関との連携におけるコーディネーターとしての役割を果たすとともに、組織的な児童生徒の支援体制づくりを行うことができる。
	健康相談	○カウンセリングマインドを持って、児童生徒の相談を受けることができる。	○カウンセリングマインドを持って、他の教職員と連携し、児童生徒の実態に応じた適切な対応を行うことができる。	○カウンセリングマインドを持って、他の教職員と連携し、児童生徒の実態に応じた適切な対応を行うことができる。	○カウンセリングマインドを持って、他の教職員に指導・助言を行いながら、児童生徒の実態に応じた適切な対応を行うことができる。	○カウンセリングマインドを持って、他の教職員に指導・助言を行いながら、児童生徒の実態に応じた適切な対応を行うことができる。
	保健組織活動	○保健組織活動の意義と学校保健に関する校内外の協力体制の重要性を理解している。	○校内の保健組織活動の企画・運営に参画することができる。	○校内の保健組織活動において、中心的な役割を担い、組織活動の改善を図ることができる。	○保健組織活動を地域ぐるみの取組につなげるため、近隣の学校や関係機関との連携を図ることができる。	○広域的な保健組織活動の活性化に向けて、教職員や保護者、関係機関との連携を図り、指導的役割を担うことができる。